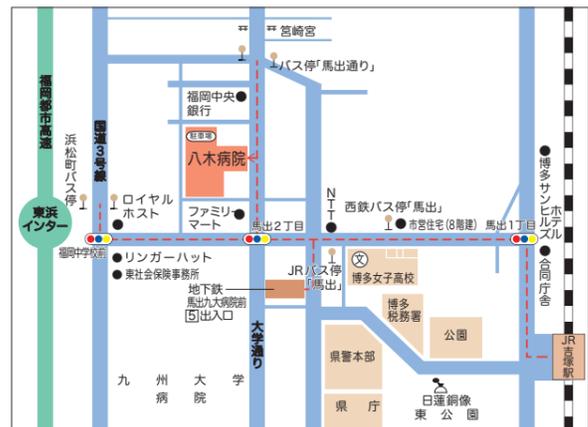


外来診療担当医のご案内

午後は、手術のため診察時間が変更する場合があります。

診療科	月	火	水	木	金	土	
外科	AM	谷井 貢	谷井 貢 (下肢静脈瘤含む)	谷井 貢	三好 修	谷井 貢 (下肢静脈瘤含む)	後 信
	PM	(谷井 貢)	谷井 貢 (下肢静脈瘤含む)	牧 孝将	三好 修	(谷井 貢)	
整形外科	AM	山口智太郎	原田 洋	原田 洋	山口智太郎	原田 洋	山口智太郎
	PM	原田 洋			山口智太郎	原田 洋	
脳神経外科	AM	三谷 昌光	三谷 昌光		三谷 昌光	三谷 昌光	
	PM			有村 公一			
皮膚科	AM						
	PM	松永 琢磨					
一般内科	AM		豊田 一弘	平峯 智	牛尾 恭輔 (第2以外)		松藤 英正 (第2以外)
	PM	有馬 久富	牛尾 恭輔	山本 賢	牛尾 恭輔 (第2以外)	戸川 温	
循環器内科	AM	富田 俊一朗	吉田 大輔		高瀬 進	西坂 麻里	樽木 晶子
	PM		西坂 麻里	西坂 麻里			
呼吸器内科	AM						
	PM		秦 兼太郎				
腎・高血圧・ 脳血管内科	AM		中村 晋之			中村 晋之	
	PM						
糖尿病内科	AM			小松 志保		有満 啓史 (第2・4)	
	PM	小松 志保		小松 志保			
神経内科	AM			磯部 紀子			
	PM						
漢方	AM						
	PM					松藤 英正	
消化器 (内視鏡)	AM	江崎 珠里	松藤 英正	大塚 宜寛 (第3以外)	畑 佳孝	三島 朋徳	
	PM		三島 朋徳	池田 浩子 (第3)			
人間ドック (健診)	AM	金澤有紀子	金澤有紀子	坂上 香苗	金澤有紀子	金澤有紀子	
	PM	金澤有紀子 (16:30迄)	金澤有紀子 (16:30迄)	坂上 香苗 (15:30迄)	金澤有紀子 (16:30迄)	金澤有紀子 (16:30迄)	
救急	AM	黒田 亮太	黒田 亮太		黒田 亮太	黒田 亮太	
	PM	黒田 亮太	黒田 亮太		黒田 亮太	黒田 亮太	



診療科目

外科・消化器外科・整形外科・リウマチ科・脳神経外科・救急科・
内科・消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・脳神経内科・漢方内科・
リハビリテーション科・皮膚科

ベット数

127床 (一般病床60床、障害者病床33床、医療療養病床34床)

受付時間 急患は24時間受け付けます。

平日 8:30~12:00
13:00~16:30
土曜日 8:30~12:30



検査・治療のご依頼は地域連携室へ

TEL: 0120-651-898
FAX: 0120-808-565



〒812-0054
福岡県福岡市東区馬出2丁目21-25
TEL(092)651-0022
FAX(092)631-1919

□発行: 医療法人八木厚生会八木病院
理事長 野本 亀久雄
□編集: 八木病院 広報委員会
□表紙写真: NPO法人癒し憩いネットワーク
□印刷: 株式会社 陽文社

WINTER

ほほえみ No.13

医療法人八木厚生会 八木病院

2021年2月号



撮影場所: 福岡市・このしまアイランドパーク

八木病院理念

恕

当院の理念である恕とは、孔子が「『仁、礼、忠、恕』の心をもって事を修めるべし」と説いた教えの中の1つで、「己の欲せざるところ、人に施することなかれ」—相手の立場に立ち、相手を思いやる心それが「恕」です。これは同情する心と違います。人間には自然治癒力といって自分で病気を治そうとする力があります。この自然治癒力はいろいろなストレスによって抑制されます。私達医人は、この力を最大限に引き出せるよう最善をつくさねばならないと思っております。

基本方針

良質・安全な医療の提供

1. 患者の皆様から親しまれ、信頼される病院にするため、良質・安全な医療の提供に心がけます。
2. 常に笑顔と優しさを忘れず、迅速、円滑に対応します。
3. 救急病院として、24時間いつでも診療します。
4. 病病、病診連携を深めて地域医療の充実・発展に貢献します。
5. 地域の皆様方の健康を守るため、健康相談に応じます。
6. 患者の皆様の人権を尊重し、理解と納得の上で診療をはじめます。



2021

令和3年 年頭のごあいさつ

新年あけまして
おめでとーございませう

昨年は新型コロナウイルス感染拡大により、当院においても、これまで経験したことのない年でした。通常診療・救急・入院・他院（施設）との連携・居宅・リハビリ・健診と様々な状況下での制限。また、入院中のご家族の面会制限やマスク着用、体調確認等、皆様には大変なご迷惑とご苦勞をお掛けいたしました。コロナ禍ではございますが、皆様が安心してご来院いただける様にスタッフ一丸となり感染対策に取り組む所存でございます。

今年は丑年です。これまでの八木病院の歴史の通り、「牛歩ではあるが、地につけたゆまづ進み続ける」ことをスタッフ一同、そして患者様、地域の先生方とこの難局を乗り越えていきたいと思っております。一方で、ワクチンの開発が進み外国では接種している模様がメディアでも紹介されており、明るい兆しもございます。

新型コロナウイルス感染症の終息を願うと共に、この新しい年がよき年となりますよう、心より祈念いたしまして年頭の挨拶とさせていただきます。

院長
山口 智太郎
やまぐち ともたろう



新年を迎えて

新型コロナウイルスの感染拡大から1年が経過しましたが、まだまだ先が見えない中、院内感染防止にそれぞれの部署が頑張っています。1年間のコロナの対応を振り返ると、当初は様々な情報に右往左往し、物品不足にも苦勞しました。外来患者さんが減り、診療の合間に外来看護師さんがいろいろ工夫し手作りでフェイスシールドを作成してくれ活用しました。国や県、医師会、企業からも支援を頂き感謝しています。発熱外来も感染拡大を考慮し、対応者は少ないほうが良いと、外来師長や医事課が奮闘してくれています。職員全員体調確認を行うと共にICTが中心となり、休憩室を分け、換気やロッカールームも対面にならないように模様替をする等3密対策を実施。看護職員全員に防護具の着脱が正しくできているかのチェックや毎週 ICT ラウンドを行い問題点を改善。院内研修もeラーニングや、院内ランを活用しています。

コロナウイルス対応マニュアルも変更、修正を重ねながら完成しました。面会も感染防止と家族の思いを考え、禁止、拡大、縮小と感染状況にあわせ対応中です。

全面禁止の際は、リモート面会も準備しています。幸いなことに院内感染の発生は免れていますが、症状もなく忍び寄るコロナウイルスですので今後も、患者さん、職員の安全を第一に1人1人が気を引き締め、職員一丸となり感染防止に努めていきたいと思っております。

看護部長
木原 恵美



Medical Social Worker

MSWの役割 メディカル・ソーシャル・ワーカー

地域連携室 MSW
川島 健司



病院により役割は変わってきますが、入院など入口を担う前方支援では案内パンフレットや書類の整備、電話回線を用いた紹介手続き、各診療科との調整など、刻々と変わる状況に対応いたします。また退院促進など担う後方支援では、病状の安定した患者様を地域へお戻しするお手伝いや施設を紹介した

いに問われる職種です。

ソーシャル・ワーカーとして、様々な機関との関係づくりは一朝一夕にできるものではなく、日頃から地道な関係づくりが基本となることを学んでいます。一つ一つ関係を構築しながら、相互理解を深めることがお互いの顔のみえる関係づくり、いわゆる可視化が重要だと感じます。地域連携室は、患者様と行政や他院、施設、居宅をつなぐ部署であり、地域との関係機関と密接な連携により、入院時から退院までスムーズに退院支援ができるよう、切れ目のない調整・支援をこれからも行っていきます。



り、日々のベッドコントロール、患者様の状態把握とのマッチングなどその場その場で判断しなければならぬこともたくさんあり、人の資質が大

transmit information

福岡からの
発信 XI

能古島の四季

八木病院 顧問
牛尾 恭輔
九州がんセンター 名誉院長

福岡県 福岡市 能古島アイランドパーク 夏のヒマワリ (8月)



秋のコスモス (10月)



世界中が新型コロナの大波に襲われています。とくに医療界は大変ですが、昨年12月より数種類のワクチンの接種が行われ、やっと一筋の光明が射して来たようです。

新型コロナが収束し、心に四季の彩りを!



冬のスイセン (1月)



春のナノハナ (3月)

さて令和3年になりました。これまで能古島のお花畑では、春のナノハナ、夏のヒマワリ、秋のコスモス、冬のスイセンが咲き、人々を癒やしてきました。私達もコロナに負けないで、それぞれの四季を楽しみたいものです。頑張りましょう。